

第2期大分県文化創造戦略の概要

1 ポイント

【「創造県おおいた」の更なる取組による地方創生の推進】

□ 芸術文化の振興と観光・地域振興の一体的推進

国に先んじて取り組んできた、芸術文化の創造性を様々な社会的・経済的課題への対応に活用した取組による地方創生の推進
県内の優れた芸術文化資源を国内外に発信し、観光誘客を促進し交流人口を創出

【国民文化祭等のレガシーの継承】

□ 新しい文化の創造・発展と次代を担う人材の育成

多様なジャンルのコラボレーションによる新しい出会いや交流、次代の芸術文化を担う人材の育成

□ 障がい者への理解と社会参加の促進

障がい者との交流や作品鑑賞を通じた障がい者への理解、アートを通じた社会参加の促進

□ カルチャーツーリズムによる地域活性化

芸術・文化事業と併せて、地域の伝統芸能や食などを体験するカルチャーツーリズムの実施による、大分の魅力発見・再認識

2 主な内容（第1期戦略との主な変更点）

【第1 戦略策定の背景と目的】

□ 国の動きを追記

- ・文化芸術基本法の改正（文化庁、2017年6月）
- ・障害者による文化芸術活動の推進に関する法律の施行（文化庁&厚生労働省、2018年6月）等

□ 国民文化祭等を記載

- ・第33回国民文化祭・おおいた2018、第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会開催（2018年10月～11月）
- ・ラグビーワールドカップ2019日本大会大分開催において、国内外の来県者に芸術文化を発信（2019年10月）

【第2 現状と課題、求められている対応】

□ 国民文化祭等の成果等を記載

- ・新しい文化の創造・展開と次代を担う人材の育成
- ・障がい者への理解と社会参加の促進
- ・カルチャーツーリズムによる地域活性化

【第3 戦略の目標・実施期間】

□ 国民文化祭等の成果を踏まえた取組を記載

- ・カルチャーツーリズムを推進し、人を呼び込む魅力的な地域づくり
- ・担い手となる人材育成、活用

【第4 重点戦略と目標達成に向けた県の事業展開】

□ 重点戦略5（大規模イベントを見据えた展開）を削除

□ 国の動きや国民文化祭等の成果を踏まえた記載を各戦略に追記（新旧対照表参照）

3 時流（社会情勢の変化）

《国の動き》

国に先んじて、第1期
戦略に明記

- 平成29年6月【文化庁】文化芸術基本法 改正
文化芸術の振興にとどまらず、観光、まちづくり、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策を取り込む
- 平成30年3月【文化庁】文化芸術推進基本計画 策定
・文化芸術の創造・発展・継承と教育、・創造的で活力ある社会、
・心豊かで多様性のある社会、・地域の文化芸術を推進するプラットフォーム
- 平成30年6月【文化庁、厚生労働省】
障害者による文化芸術活動の推進に関する法律 施行
文化芸術活動を通じた障害者の個性と能力の発揮及び社会参加の促進
- 平成31年4月【文化庁】
文化財保護法及び地方教育行政の組織及び運営に
関する法律 一部改正
・地域における文化財の計画的な保存・活用の促進
・地方文化財保護行政の推進力の強化
- 令和元年～3年 日本博
東京オリ・パラを契機として「日本の美」を世界に発信
インバウンドの拡充、国家ブランディング

《県の動き》

- 平成28年3月
大分県文化創造戦略 策定
- 平成28年4月～
創造県おおいた推進事業(様々な行政課題への対応)
・水害(平成29年九州北部豪雨)復興事業として芸術文化を活用
・観光推進事業として六郷満山開山1300年を活用
・産業創出事業として県内クリエイターを活用 等
- 平成30年9月
大分県立芸術文化短期大学アートマネジメントプログラム開始
- 平成30年10月
第33回国民文化祭・おおいた2018、
第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会
【3つのレガシー】
・新しい文化の創造・展開と次代を担う人材の育成
・障がい者への理解と社会参加の促進
・カルチャーツーリズムによる地域活性化
- ◇ 令和元年9月～11月 ラグビーワールドカップ2019日本
大会大分開催
・国内外からの来県者に大分の魅力を発信
- 令和元年11月
おおいた障がい者芸術文化支援センター 開設
- 令和2年3月 第2期大分県文化創造戦略
「創造県おおいた」の推進による地方創生の実現

4 各重点戦略に関連する県の取組

重点戦略1: 芸術文化を享受できる機会の提供

- 公演や演奏会、美術展、地域での文化フェスティバルなど多彩な芸術文化イベントが行われる「大分県民芸術文化祭」を開催
- 「別府アルゲリッチ音楽祭」や「大分アジア彫刻展」の開催
- 大分県芸術文化振興会議を通じて県内の小中学校等で公演、講演、展示活動を行う団体に対し助成
- 大分県文化財保存活用大綱と市町村の文化財保存活用地域計画により、教育資源、観光資源として、文化財の活用を通じた地域活性化を促進
- 県内各地の小学校において、県立芸術文化短期大学美術科の学生が児童参加型の創作活動を実施

重点戦略3: 創造性を生かした教育、産業、福祉などの課題対応、地域づくりの展開

- 地域の伝統芸能や食を巡るカルチャーツーリズムの実施
- 各市町村のもつ芸術文化資源を効果的に活用することで、交流人口の拡大や移住定住を促進し、地域を活性化
- 創造的地域づくりを推進するため、個展形式の大規模芸術祭「In BEPPU」、市民参加型の「ベップ・アート・マンス」等の地域のアートプロジェクトを支援
- 全国障害者・芸術文化祭の成果を継承・発展させるため、福祉事業所等に対する相談支援、人材育成、芸術文化活動の発表・鑑賞の機会の提供等を行う「おおいた障がい者芸術文化支援センター」を開設
- 小学校へ障がい者アーティストを派遣してワークショップを開催
- 子どもたちの感性や豊かな情操を養うため、ものの見方が広がる小学4年生を対象とした能動的な芸術鑑賞活動を県立美術館で実施

重点戦略2: 芸術文化ゾーンにおける芸術文化の創造及びネットワークの構築

- 県立美術館開館5周年記念を記念して、記念式典やイベントを開催するほか、県立美術館設計者の坂茂氏の展覧会である「坂茂建築展」を開催
- ラグビーワールドカップ2019日本大会を契機とした海外美術館との連携交流を通じて、優れた美術品を海外に情報発信するとともに、県民が海外の優れた作品を鑑賞する機会の提供
- 県立総合文化センター
オペラ「トゥーランドット」、オーケストラ「ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団」、歌舞伎「松竹大歌舞伎」等を実施予定
- 県立美術館
アニメ「びじゅチューン！」をテーマとしてパネル等を展示する「びじゅチューン！×OPAM なりきり美術館」、詩人・相田みつをの展覧会である「相田みつを展」等の実施を予定

重点戦略4: 次代を担う人材やアートマネジメント人材の育成

- 県内各地でアートプロジェクトに取り組んでいる関係者等のネットワーク化と活動の活性化を図るための成果発表会を開催
- 子どもたちが本物のクラシック音楽に触れる機会を提供するため、「しいきアルゲリッチハウス」でコンサートを開催
- (公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団による、音楽を通じた子どもたちの健全育成を目指して結成した「ジュニアオーケストラ」の運営
- 学校や学校の教員を対象に、県立美術館の教育普及活動として、美術体験と鑑賞を組み合わせた体験学習プログラムを実施
- 県立芸術文化短期大学で、アートマネジメント人材の育成に関するカリキュラムとして「アートマネジメントプログラム」を開設